



発行日 平成31年2月27日

発行 国土交通省 東北地方整備局
 仙台河川国道事務所 岩沼出張所

〒989-2441 岩沼市館下1丁目2番9号
 TEL:0223-22-2801
 FAX:0223-22-2802

若手勉強会～河川編～

12月20日(木)に仙台河川国道事務所の若手職員12人による勉強会を阿武隈大堰を含む岩沼出張所管内で行われました。「河川事業を学ぶ」をテーマに、座学や現場見学をとおして河川事業の概要や維持管理のポイントを学びました。

「若手勉強会」とは・・・

採用1～4年目の若手職員が自身で学びたい内容を決定し、担当職務にとらわれず座学や現地見学により職務スキル向上を目的として展開しているもの。

【座学】



★講義内容★
 ・河川事業の概要
 ・河川管理について
 ～河川管理施設と河道の維持管理の実務～

★感想★
 ・堤防の意味や成り立ちを知ることが出来た。
 ・「利用者目線で現場を見ること」の重要性を学んだ。
 ・河川については初心者でしたが、概念的な部分をしっかり説明いただいたことで、河川管理の初歩的なところを理解することができた。

【阿武隈大堰施設見学】



大堰の役割や目的について学んだよ！
 初めて訪れた職員がほとんど。



↑あぶたん

【遠隔除草機械で除草体験】

堤防機能の維持や堤防に異常がないか確認するために、重要な作業です。年2回除草を実施しています。



除草体験中



★感想★
 ・操作の手軽さと作業スピードに驚いた。

【現場見学★今泉地区漏水対策工事】



★工法の概要★
 平成29年の台風21号で被害を受けた今泉地区の堤防の災害復旧工事です。セメントを使用せずに、粘土質の壁をつくる「エコクレイウォールⅡ工法」で浸透対策を実施しています。
 河川工事では全国で2事例目の珍しい工法です。

★感想★
 ・実際に河川の災害復旧工事現場を見る機会があまりなかったのでとてもいい機会であった。

↑施工機械(重さは100t)



水門等水位観測員講習会

2月19日(火)に、岩沼市民会館において、仙台河川国道事務所が管理する水閘門の観測員を対象にした「平成31年度水門等水位観測員講習会」を開催しました。

この講習会は年1回行われており、この日は13名の水門等水位観測員が出席しました。今回の講習会では、平成30年に発生した全国の豪雨災害の概要の説明を受け、水門等(樋門・樋管)の点検方法や出水時の対応方法をいざというときに適切に対処できるよう再確認しました。

水位観測員とは？なにをするの？

水位観測員とは、洪水時に私たちの安全な生活を守ってくれている人たちです。

正式名称は、『水門等水位観測員』といいます。河川が増水したときなどは、昼夜を問わず、担当する水閘門の操作・水位観測等を行っています。また、施設が正常に機能するよう日常の点検を行うとともに、地震時には、施設が被災していないか臨時の点検も行うことになっています。

観測員の方々のこうした地道な努力により、地域の安全安心が確保されています。

講習会の様子



水門等水位観測員のみなさん、お疲れ様でした★